
生涯学習開発財団 2017(平成29)年度 博士号取得支援事業
【募集要項】

■採用予定人数

特に人数は定めません。

■助成金の支給

- ・支給金額は1人あたり年間50万円
- ・支給期間は1年とする。
- ・支給日は2018年3月
- ・下記の項目にあてはまる事態が生じた場合、助成の取り消しをします。
 - ①申込書に虚偽の内容が記載されていることが判明した場合。
 - ②対象者から活動状況の報告がなく、あるいはその内容が不適切と判断される場合。
 - ③その他、当財団との信頼関係を著しく損ねる行為があった場合。

■応募資格

以下の条件を満たす者

- ・50歳以上(性別、国籍、所属を問わない)
- ・日本国内に在住している者
- ・博士課程(博士後期課程を含む)に在籍するか、論文博士号の取得をめざし、かつ実行性の高い研究計画書を作成した者もしくは博士論文の一部をすでに作成した者
- ・日本国内の大学で博士号を取得する予定の者
- ・日本語で論文を作成する者
- ・品行方正、勉強に熱意を持っている者

■応募方法

- ・提出書類
 - ①指定申請書
(Wordファイル)
 - ②身元証明書(在学証明書、住民票、外国人登録済み証明書など)
 - ③研究計画書
 - ④学業成績証明書(直近のもの。ただし、博士課程に在籍する者のみ)
 - ⑤完成した論文のコピー(部分可。ただし、博士課程に在籍せず、論文博士を目指す者のみ)
 - ⑥指導教授の推薦書(博士課程に在籍する者)
 - ⑦論文指導をする者(論文提出先の者が望ましい)の推薦書(注) 博士課程に在籍中の応募者は①②③④⑥を、博士論文を執筆中の応募者は①②③⑤⑦の提出をお願いします。なお、⑤は任意提出
- ・応募締切日
2017年12月15日(金) 必着

■選考

- ・提出書類および面接により選考を行います。
 - ・書類選考の上、面接を行う予定ですが、面接の日程など詳細については対象の方のみ、申請書にご記入いただいたメールアドレスにメールするか、あるいはご記入の住所に送付します。
 - ・合否の最終通知は本人の住所宛に送付します。
-

募集
開始

2017(平成29)年度

博士号

取得支援事業

一般財団法人生涯学習開発財団は、「人間は感動する心を失わず、何ごとかを学び続ける限り、年齢にとらわれない生き方をすることができる」という理念のもと1983年に設立されました。平均寿命が延びる今、定年後も学習を継続し、社会へ貢献し続ける中高年の存在は、日本社会にとって大きな支えとなります。

財団では、現在博士号の取得を目指す50歳以上の方々を対象に、2011年度から支援事業を行っております。この取り組みを通して、来るべき高齢化社会の生涯学習を促進し、よりよい社会作りにも貢献することをめざしています。

本事業は、国籍や性別を問わず、また、研究領域は文系・理系を問いません。独創的で社会的な意義のある研究を行い、博士論文を執筆中あるいは提出が予定されているすべての方に門戸は開かれています。皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

■ 採用予定人数

特に人数は定めません。

■ 助成金の支給

- ・支給金額は一人あたり年間50万円
- ・支給期間は1年
- ・支給日は2018年3月

■ 応募資格

以下の条件を満たす者

- ・50歳以上（性別、国籍、所属を問わない）
- ・日本国内に在住している者
- ・博士課程（博士後期課程を含む）に在籍するか、論文博士号の取得をめざし、かつ実行性の高い研究計画書を作成した者、もしくは博士論文の一部をすでに作成した者

・日本国内の大学で博士号を取得する予定の者

- ・日本語で論文を作成する者
- ・品行方正、勉強に熱意を持っている者

■ 応募方法

(1) 提出書類

- ・指定申請書
- ・身元証明書
- ・研究計画書
- ・推薦書 ほか

詳細は募集要項でご確認ください

(2) 応募締切日

2017年12月15日(金) 必着

■ 選考

提出書類および面接により選考

お問合せと募集要項の請求は下記まで



一般財団法人生涯学習開発財団 博士号取得支援事業部
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館2階 TEL 03-3508-4551
募集要項・申請書は → <http://www.gllc.or.jp> E-mail hakushi@gllc.or.jp



2016 (平成28年度)

「博士号取得支援事業」 助成金授与者決定



平成28年度博士号取得支援事業の合格証授与式が3月13日(月)、東京・虎ノ門の生涯学習開発財団にて行われた。冒頭、財団理事長・松田妙子が「私は65歳の時に、苦手なことにチャレンジしようと思いつき、当時いちばん嫌いだっただけの勉強をやるうと決意しました。日本の伝統的住宅の研究をして、71歳の時に東京大学の博士号を取得しました。自分がやりたいと強く決意することが出発点ですが、それ以上に大切なことは、決めたことをやり遂げることです。皆さんも今日が出发点、博士号取得まで頑張ってください。やり遂げることが重要です」と鼓舞した。

●合格者と研究テーマ

神谷光信 (56歳)

「ポストコロナの視座より見た遠藤周作文学の研究・村松剛・辻邦生との比較において明らかにされた異文化受容と対決の諸相」

齊田要 (61歳)

「遺伝子の発見、解明、と産業応用」

高橋保幸 (53歳)

「日本の職業資格の特質と整理・統合に関する研究―企業(民間)主導型職業教育訓練システムの解明に向けて―」

中川有紀子 (52歳)

「女性管理職育成・登用は、日本企業の組織をどう変えるか―745社の日本企業の定量分析と日米韓企業4社の定性分析から実証する―」

原田浩司 (57歳)

「低輻射加熱を受ける木材の燃焼性能および高温域に晒された木材の強度性能に関する研究」

吉澤厚文 (58歳)

「福島第一原子力発電所における事故対応の分析に基づく緊急時対応力向上に関する研究―レジリエンスエンジニアリングを用いた教訓の抽出とその実装方策の検討―」

(五十音順、年齢は授与式当日)